

デジタルpHセンサ Memosens CPS61E

食品・飲料産業およびバイオテクノロジー産業のバイオリアクタに最適なMemosens 2.0対応ガラスセンサ



利点:

- Memosens 2.0は校正およびプロセスデータを従来以上の情報量で記録し、優れたトレンド識別を可能にし、予知保全と強化されたIIoTサービスのための先進の基礎を提供します。
- 非常に優れた精度と再現性を備えたセンサにより、生産収率を最大化するための最適な範囲内にpH値を保ちます。
- 特殊なガラス膜とリファレンスシステムがCIP/SIPおよびオートクレーブに対する耐久性（最高140°C/284°F）と長期的な安定性を提供します。
- USPクラスVI準拠の生体適合性認証を取得し、FDA準拠の接液部を備え、VO 1935/2004準拠、細胞毒性なし、生物反応性なし、動物性材質を使用しない本センサは、製品品質を保護します。
- 関連するセンサデータとプロセスデータをすべて自動的に保存・文書化するMemobase Plusソフトウェアを使用して、CPS61Eの効率的なメンテナンスが可能です。
- 非接触式の電磁誘導信号伝送により最大限のプロセス安全性を確保
- プロセスのダウンタイムを最小限にし、長いセンサ寿命により運営コストを削減

詳細情報と現在の価格は以下をご覧ください:

www.jp.endress.com/CPS61E

仕様一覧

- **測定範囲** pH: 0~14
- **プロセス温度** アプリケーション N: 0 ~ 100 °C (32 ~ 212 °F)
最高 140 °C (284 °F) 滅菌用
- **プロセス圧力** 0.08 ~ 0.7 MPa (11.6 ~ 101.5 psi) 絶対圧

アプリケーション: Memosens CPS61Eを使用してpH値を最適な範囲内に保ち、生産収率を最大化できます。堅牢な構造および長期的な安定性により、CIP/SIPやオートクレーブの後であっても極めて精度が高く再現性のある測定値が得られます。CPS61Eに搭載された Memosens 2.0技術により、予知保全のための校正およびプロセスデータを従来以上の情報量で保存できます。センサは耐湿性を備え、ラボでの校正が可能で、プロセス整合性を高め、プロセス稼働時間を向上します。

機能と仕様

pH

測定原理

電位差測定

アプリケーション

サニタリおよび滅菌アプリケーション（滅菌可能、オートクレーブ可能）：

- バイオリアクタ/ファーメンタ
- バイオテクノロジー
- 製薬産業
- 食品

特性

サニタリ製造プロセス用デジタル pH 電極、イオントラップ付き長期安定リファレンス

測定範囲

pH：0～14

測定原理

セラミック液絡膜およびイオントラップ付きゲル採用コンパクト電極

構造

すべてのシャフト長で温度センサ付き
高度な固体電解質（ジェル）技術

pH

材質

センサシャフト: プロセスに適したガラス

pH ガラス膜: タイプ N

金属リード: Ag/AgCl

オープンダイアフラム: セラミック液絡膜、二酸化ジルコニウム

Oリング: FKM

プロセスカップリング: PPS ガラス繊維強化

銘板: 金属酸化物セラミック

外形寸法

直径: 12 mm (0.47 inch)

シャフト長: 120、225、360、425 mm

(4.72、8.86、14.2、16.7 inch)

プロセス温度

アプリケーション N:

0 ~ 100 °C (32 ~ 212 °F)

最高 140 °C (284 °F) 滅菌用

プロセス圧力

0.08 ~ 0.7 MPa (11.6 ~ 101.5 psi) 絶対圧

温度センサ

NTC 30k

防爆規格適合証明書

危険場所 Zone 0、Zone 1、Zone 2 で使用するための ATEX、IECEX、CSA C/US、

NEPSI、国内防爆、INMETRO 認定取得。

接続

Memosens 2.0 テクノロジーを搭載した電磁誘導伝送の非接触式接続ヘッド

保護等級

IP68

詳細情報 www.jp.endress.com/CPS61E